

文化政策の基本的な考え方

台東区には区民が誇りに思う素晴らしい文化がある。

社会的財産としての豊富な文化資源を活かし、豊かで充実した区民の生活と元気なまちを実現することは台東区の責務であると同時に、台東区でなければ実現不可能な課題である。特に文化を産業の活性化につなげ、それをまた文化の発展に還元させるという、文化と産業の相互振興の視点は台東区にとって極めて重要である。また区民が文化を享受するためには、治安や美観、景観など地域で安心して快適に暮らし、普段の生活の中でまちに魅力を感じることができる生活環境をつくりだすことが大切である。

区民が地域に誇りと愛着を持ち、台東区が将来にわたって持続可能な発展を続けていくためには、あらためて台東区が持っている文化の力を見つめなおし、文化を守り育み発展させていく努力が必要である。

このため、台東区の文化政策は次のような基本的な考えのもとに展開するものとする。

1. 基本理念

21世紀のまちづくりの基本を文化の力に置き、台東区の歴史、伝統、生活に根ざした文化の特性を活かしながら、新たな文化の創造と産業や観光の振興を推進し、快適で豊かな生活環境の創出を実現する。

2．基本的な視点

(1) 歴史、伝統、生活に根ざした文化の継承と発展

区内の歴史、伝統、生活に根ざした文化（以下「区内の固有の文化」という）で何が現存し、何が失われたかを検証する。
区内の固有の文化の新たな掘り起こし、保存、活用を図る。
区内の固有の文化を知り、学び、実践する機会を充実する。

(2) 時代を先導する新たな文化の創造と国内外への発信

区内の文化資源の総合的な活用を図り、台東区を時代の先端を担う文化の創造と発信の拠点とする。
上野の山文化ゾーンの活性化を推進し、浅草等の大衆文化の振興を図る。
芸術家、芸能人の育成と支援を図り、活動の拠点を整備する。
区民の文化活動の充実と支援を図り、活動の拠点を整備する。
国内外との文化交流を促進するとともに、文化情報の蓄積と発信を図る。

(3) 文化と産業・観光との連携、融合・一体化による総合的な文化の力と経済力の育成

文化資源を活用した産業・観光の振興を図る。

文化資源の掘り起こしとネットワーク化、ハード面とソフト面の一体化、もてなしの心の醸成により、来訪者の誘引を促進する。芸術家と伝統産業、デザイン・ファッション関連産業との連携を推進するとともに、コンテンツ産業²など新たな産業の立ち上げ、育成に資する。

文化産業の発展と、文化的要素が付加価値を与え産業の競争力を高める産業の文化化の視点に立脚した、新たな産業環境を醸成する。

文化・芸術と産業を連結する人材のネットワーク化を推進するとともに、関連情報の蓄積と発信を図る。

(4) 誰もが住みたい、住み続けたい文化的なまちづくりの推進

安全で安心して暮らせる地域社会を形成する。

まちの美化を推進し、清潔で美しい台東区の実現を図る。

地域の特性を活かした台東区ならではの景観を守り、育む。

家庭、学校、地域が連携し、社会全体で将来の担い手である心豊かな子どもの育成を図る。

高齢者や障害者が生きがいを追求し、文化を享受できる環境づくりを行う。

² 【コンテンツ産業】

映画や音楽、ゲーム、放送、出版、新聞など情報の内容売り物とする業界全体を指す。産業の規模は年間で約1兆1千億円で、日本を代表する自動車産業（年間2兆1千億円）の半分、鉄鋼産業（同5兆円）の2倍に相当する市場。

(5) 区民、芸術家、団体、企業等との連携の確立

区民やボランティア等との連携を強化することで、多様なニーズに迅速に対応し、区民の自主的・積極的な文化活動を促進する。文化団体やNPO等が有するノウハウを積極的に活かせる推進体制づくりに努める。

企業との連携を進め、企業による文化活動を促進するとともに、メセナ³活動の機運を醸成する。

区民、芸術家、団体、企業等が相互に連携できる環境づくりを行う。

³ 【メセナ】

企業が文化・芸術活動に対し、後援・資金支援を行うこと。
アウグストゥス治下の古代ローマの政治家で文芸を庇護したマエケナス（Maecenas）の名にちなむ。